

卒業生による講演会

中二校外学習

令和七年十二月七日



中学二年生は、天神繁昌亭での落語の鑑賞と、大槻能楽堂での狂言の鑑賞を行いました。

天神繁昌亭では、本校卒業生の林家染雀様をはじめ、嘶家の方々の落語や講釈を楽しみました。また上方落語の特徴である出囃子や鳴り物（ハメモノ）も体験しました。

大槻能楽堂では、狂言の鑑賞に加え、実際に舞台上がり狂言の台詞や動きを体験したり、面をつけたりしました。どちらの伝統芸能も、より深く味わうためには言葉や動きから情景を想像する力や、時代背景や芸能文化に対する知識など、幅広い教養が必要だと思っています。

今回の校外学習が、さまざまな学びへの関心を深めるきっかけとなることを願っています。（中西）

中三対象

令和八年一月二十三日

一月二十三日（金）、本校七期生の原島敏郎氏を講師にお迎えし、中学三年生を対象にキャリア講演会を実施いたしました。

講演では、「自身の豊富な社会経験をもちに、「なぜ今、学ぶのか」「働くことは何か」について、わかりやすくお話をいただきました。学習は進学や将来の職業選択のためだけでなく、物事を多角的に考え、自分で判断する力を育てる基礎となること、また、将来は自分自身の選択と行動によつて築かれていくものであるということ語っていただきました。生徒一人ひとりが、自身の将来や生き方について

考える良い機会となりました。（岩本）

中二対象

令和七年十月二十三日

中学2年ではキャリア教育の一環として、10月23日に大阪市消防局 人事課の八柄堅一様にお越しいただき、プロサッカー選手から戦力外通告を受け、セカンドキャリアとして消防という職業をなぜ選択されたのか、現在までの経験をグラフにしてわかりやすくお話ししていただきました。

生徒の感想

緊急消防援助隊など様々な部隊があり、思いやりを持ち活動していることがわかりました。

今までより深く消防について知り、このような方々のおかげで安心して生活できていることが実感できました。

これからも思いやりと感謝を忘れずに生活したいです。

「向き不向きよりも前向きに」という言葉、チャレンジする精神が大事なんだなと感じた。（段）

高一対象

令和七年六月十四日

六月十四日の4時間目、高校一年生を対象とする進路講演会を実施しました。

教育実習生の西尾祐希人君（東京大学）、米田幸祈佳さん（大阪大学）のお二人と、今年三月に卒業された畑有恵さん（大阪大学）の3名に講演いただきました。

講演者の言葉

大阪・医（看護）

畑 有恵さん（58期）

高1の皆さん、先日は私の話に真剣に耳を傾けてくださりありがとうございました。そこでもお話ししたように、何事もちりつもです。毎日の通学時間のたった10分でも、その積み重ねが実力にも自信にも繋がります。地道な努力を惜しまずに頑張ってください。ただ、頑張り始めてもすぐに結果が出ないことは覚えておいて

てください。勉強しているはずなのに、他人と比べて才能がないように思えて諦めなくなることもあるかもしれません。受験勉強は精神的にも身体的にも大変ですが、自分の目標に向かって、一歩ずつ進んでいてほしいと思います。皆さんが充実した高校生活を送れることを願っています！

大阪・文

米田 幸祈佳さん（55期）

自分も文理選択に思い悩んだ金蘭生の1人として、本講演では、私がどのようにして文系を選び、阪大文学部を志望したか、そして、大学に4年通って気付いたことをお話させて頂きました。好きな学問（世界史や地理）とやりたい仕事（薬剤師）を天秤にかけ、文学部を選びましたが、大学では、例えば一口に世界史といっても、文や法、外国語学部など色々な学部で様々な視点から学ぶことができ、各大学や研究室、教員にはそれぞれ得意分野や特色があります。進路選択の際には、より具体的に自分が将来何をしたいかをイメージし、情報媒体や人脈を活用して、自分に合った所を選ぶとよいのではないのでしょうか。

たくさん悩み、勉強し、我が道を進んで下さい！応援しています！！

東京大・工

西尾 祐希人さん（53期）

私の文理選択・大学選択・学部選択の3点に対する動機を紹介いたしました。受験勉強に限らず、自身が大学入学後に4年間を費やし学習したいと思えるものを高校生のうちから探す重要性を捉えることができる講演となるよう努めました。進路選択を通して、「自分の人生の責任を背負い始めること」と「進路は後悔の連続であるからこそ悪くないと思う選択肢を選ぶこと」をお伝えいたしました。さらに、研究生活から得られた知見として、自分の疑問を追求する重要性にも言及いたしました。一層の国際化を踏まえ、英語を学習することの必要性も最後に紹介いたしました。今後、生徒の皆さまが様々なことに励まれ大成されますことを心より祈念いたします。

令和7年度

高等学校・中学校の活動報告

*英語インテンシブ講座

校内で行う英語集中講座は夏期と冬期に実施され、中三生から高二生が主な対象ですが、参加人数によっては中一生・中二生も参加できます。

講座は四日間、少人数のグループで行います。まず講師の出身国について理解を深め、英語に慣れるところから始めます。その後、自分の意見を英語で表現する練習を重ね、最終日にはプレゼンを行います。堅い内容ばかりではなく、ゲームなどの楽しい要素も取り入れられており、講師が丁寧に指導するため、英語が苦手な人でも多くの学びが得られます。

今年度夏期では、奈良で外国人観光客にインタビューを行い、生徒たちは緊張しながらも交流を楽しんでいました。（永川）

*自衛隊コンサート

陸上自衛隊中部方面音楽隊
コンサート（芸術鑑賞会）



地域・市民とのかけはしとなるべく、年間約百回の演奏活動をなさっている、隊長・佐藤文俊2等陸佐率いる陸上自衛隊中部方面音楽隊が、本校のために11月21日（金）に吹田メイシアターでコンサート開いて下さいました。

第1部は吹奏楽オリジナル曲を中心としたクラシカルなステージ、第2部はポップスを中心とした楽しいステージとなっており、大学で音楽を専攻なさった隊員の方々は、大変美しく明るく勢いのある演奏を、金蘭千里の全校生徒に聴かせて下さいました。

特に、「自衛隊の歌姫」濱野萌々子陸士長の鳥肌ものの歌声や、ダイナミックでユーモラスな仁科秀隆3等陸曹の超絶技巧トロンボーンソロは素晴らしく、約90分のプログラムはあつという間に終了しました。（渡辺）

